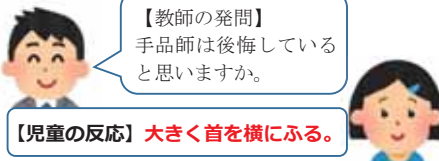


(1) 横断的な評価例
(5年 「手品師」の例)



【教師の発問】
手品師は後悔している
と思いますか。

【児童の反応】大きく首を横にふる。

この児童の「手品師」の振り返り
もしこの話が自分だったらと思うと私は優柔
不断なので、やはり迷いに迷ってしまいます。
でも、手品師は約束の方を選んで後悔していな
いところがすごいです。

教師の 見取り	【評価フォーマット】自分自身④ 手品師の判断の難しさを理解した上 で、約束を選んだことを後悔していない という手品師の判断を捉えている。
------------	---

実際の
評価文

「手品師」の学習では、手品師が自分
の夢よりも約束を選ぶことはとても難しい
ことだと捉えました。登場人物の行動を
理解し、自分のこととして誠実について
考えることができました。

*評価文は一例です。大切なことは学級担任が児童理解に努め、教師と児童との人格的な触れ合いによ
る共感的な理解の基で道徳の授業を進め、児童の成長の様子を積極的に受けとめることだと考えます。

(2) 縦断的な評価例
(5年 「手品師」「ブランコ乗りとピエロ」の例)

「手品師」 の振り返り の記述	手品師は、約束をきちんと守って いて、ほくにはあのような決断はで きないと思いました。
「ブランコ 乗りとピエ ロ」の振り返り の記述	ほくは始め許せなかったけど、友 達の考えを聞いて、許して広い心で 受けとめるのも大切だと思いま した。ピエロは、サーカス団のリーダ ーにふさわしいと思いました。

↓

教師の 見取り	【評価フォーマット】多面的・多角的② 「手品師」の振り返りでは、自分の考え のみの記述だったものが、「ブランコ乗りと ピエロ」では、友達の考えを聞き、多面 的・多角的な見方へと変容している。
------------	---

↓

実際の 評価文	道徳の授業では、自分自身のことと して考えるに加えて、友達の考えを聞い て、相手を許すことについての自分の考 えを広げることができるようになりました。
------------	--

8 研究のまとめ（成果）

- 評価フォーマットを作成し、見取りのポイントを明らかにして、授業実践を行ったことで、授業中の児童の発言や記述、態度の分析を行うことができました。
- 教師が様々な方法により見取ったことや児童が授業で使った学習シート等をポートフォリオとして積み重ねることで、中・長期的な成長に着目することができました。
- 児童の学習状況や道徳性に係る成長の様子を2つの視点で見取り、評価する方法を充実させることができました。そうすることで、児童の意欲の向上につながり、一人一人のよさを伸ばし、成長を促すための評価の在り方が明らかになったと考えます。

研究報告書と補助資料は下記の
岩手県立総合教育センターのWeb
ページに掲載しております。詳しい
研究内容や授業実践例（学習指
導案や学習シート・板書例）など
を見ることができます。



<http://www1.iwate-ed.jp/kenkyu/h09~/index.html>

研究主題 小学校道徳科における評価の在り方に関する研究

— 児童の学習状況や道徳性に係る成長の様子を見取り、評価する方法の充実を目指して—

【研究担当者】 長期研修生 赤瀬 光雄
(所属校 奥州市立水沢南小学校)

【この研究に対する問い合わせ先】

TEL 0198-27-2735 FAX 0198-27-3562
E-mail kyouka-r@center.iwate-ed.jp

1 はじめに

道徳教育の充実を目指した小学校における「特別の教科 道徳」（以下「道徳科」という。）が平成 30 年度から全面实施されることに伴い、道徳科における評価の重要性が示されました。本研究では、小学校道徳科における、一人一人のよさを伸ばし、成長を促すための評価の在り方について提案します。

2 道徳科における評価について

道徳科の評価に際しては、児童がいかに成長したかを積極的に受け止め、認め、励ます個人内評価を行うとともに、大きくりなまとまりを踏まえることが大切です。

「個人内評価」とは

- 他の人との比較ではなく、児童一人一人の個人としての成長を評価するものであり、児童一人一人をもっと理解したい、よさを引き出したい、成長を励ましたいという思いをもって行われる評価です。

「大きくりなまとまりを踏まえた評価」とは

- 内容項目ごとではなく、総合的に児童のよさを評価します。
- 中・長期的な時間で児童の成長を評価します。

3 道徳科における見取りの視点

道徳科における評価は、児童の学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握することが大切です。道徳科において、児童の学習状況や道徳性に係る成長の様子をどのように見取り、記述するかについて、「小学校学習指導要領解説 特別の教科道徳編」（2017）では、次の2つの視点を重視することが述べられています。

見取りの「2つの視点」

- 児童が一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか
- 道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか

4 授業における見取りの方法

児童の発言や記述・活動の様子を前述の2つの視点で見取ります。具体的には、授業中の発問に対する発言や記述から児童の様子を見取る方法と、発言や記述ではない形で表出する児童の様子を見取る方法の2つがあります。

見取りの方法

(1) 発言や記述から表出する児童の様子

- ア 発言から表出する児童の様子からの見取り
- イ 記述から表出する児童の様子からの見取り
- ウ 児童への聞き取りからの見取り

(2) 発言や記述ではない形で表出する児童の様子

- ア 体験的な学習の様子からの見取り
- イ 態度面からの見取り
- ウ 児童の思考を表出させる活動からの見取り

5 学習の積み重ねを評価に活用する方法

授業では、児童の発言や記述、態度など、様々な方法により見取ったことを、記録しておきます。この見取りの積み重ねが評価をする上で大きな手がかりになります。例えば、児童が授業で使用した学習シートは教師がコメントを書き、ポートフォリオとして積み重ねます。こうして見取った多くの内容を分析することで、中・長期的な児童の成長に着目した、大きくりなまとまりを踏まえた個人内評価をすることが可能になります。

6 実践における評価の方法

本研究では、様々な方法により見取ったことを評価にいかすために、評価フォーマットを作成して活用します。評価フォーマットとは、前述の見取りの2つの視点と見取りの方法を手がかりに、児童の学習状況や道徳性に係る成長の様子を評価にいかせるように表にまとめたものです。このフォーマットを活用しながら、児童に対して認め、励ます個人内評価を行います（報告書と補助資料では、活用方法と事例を詳しく掲載しています）。次ページから評価フォーマットを示します。

評価フォーマット①<発言や記述から表出する児童の様子>

視点	見取りのポイント	児童の発言・記述例	評価記述例
道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか	自分自身① 「自分なら」と考え、イメージして理解している。	横断的 自分だったら〇〇すると思うけど、〇〇は〇〇という行動をして、すごいと思った。	〇〇の学習では、登場人物の行動を理解し、自分のこととして捉え、〇〇について考えることができました。
		縦断的 これまでの学習で、自分だったらどうするかについて話し合い、〇〇について自分のことをいろいろ考えた。	道徳の学習を通して、〇〇について自分のことと重ね合わせて考えることができるようになりました。
	自分自身② 「今までは」と自分のことを振り返っている。	横断的 今までは〇〇していたけど、これからは〇〇しようと思った。	〇〇の学習では、自分の生活を振り返り、〇〇しようとする決意をもつことができました。
		縦断的 自分の生活を改めて振り返り、〇〇について真剣に考えることができた。	道徳の学習では自分の生活を振り返って、〇〇について自分のこととして考えることができました。
自分自身③ 友達の意見を聞き、さらに理解を深めている。	横断的 〇〇について、〇〇さんの考えを聞いて、〇〇することがとても大切だと思った。	〇〇の学習では、友達の意見を聞いて、〇〇することが大切だと、深く考えることができました。	
	縦断的 みんなの考えを聞くことができ、〇〇について友達の気持ちが分かったし、自分の気付かない気持ちが分かるようになった。	道徳の授業を通して、友達の考えを聞いて、〇〇について深く考えることができるようになりました。	
自分自身④ 登場人物の行動に共感するなど、実現することの難しさを自分のこととして捉えている。	横断的 登場人物は〇〇したけど、自分には、なかなかできないことだと思った。自分にできることは〇〇だと思うので実現できるようにがんばりたい。	〇〇することは、とても大変なことだと捉え、自分にできることは〇〇することだと考えることができました。	
	縦断的 〇〇することや〇〇することは、とても難しいと思っていたけど、〇〇することが大切だと思った。	〇〇することの難しさについて捉えた上で、自分の考えをもつことができました。	

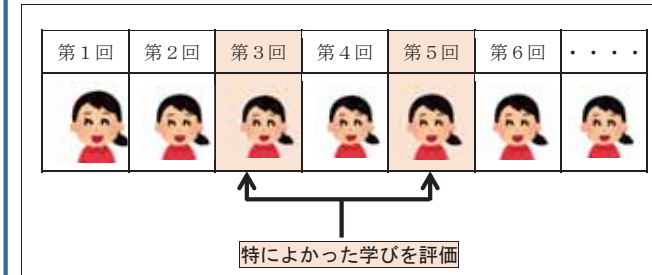
評価フォーマット②<発言や記述ではない形で表出する児童の様子>

視点	見取りのポイント	児童の発言・記述例	評価記述例
児童が多面的・多角的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか	多面的・多角的① 登場人物の判断の根拠・心情を様々な視点から捉え、考えようとしている。	横断的 登場人物は〇〇という考えと、〇〇という考えで迷っていたけど、〇〇という理由から、〇〇をしたと思う。	登場人物が〇〇したときの気持ちを考え、〇〇や〇〇という考えがあることを捉え、〇〇という自分の意見を記述することができました。
		縦断的 道徳の学習を通して、〇〇について〇〇だと思っていたけど、〇〇という考えもあるのだと思った。	道徳の学習を通して、〇〇について、〇〇や〇〇などの様々な立場から考えることができるようになりました。
	多面的・多角的② 自分と違う友達の意見を理解しようとしている。	横断的 自分は〇〇と考えていたけど、〇〇さんの話を聞いて、納得した。	友達の話から〇〇という自分の考えを広げることができました。
児童の思考を表出させる活動	多面的・多角的③ 対立する場面において相手の立場になって理解しようとしている。	縦断的 道徳の学習を通して、〇〇という友達の考えを聞いて、自分の考えが変わることが実感できた。	道徳の学習を通して、友達の〇〇という考えを受け入れながら、自分の考えを広げることができるようになりました。
		横断的 〇〇のとき、〇〇か、〇〇かで迷ってしまいうけど、どちらの考えも大切だと思った。	〇〇の学習では、〇〇について〇〇と〇〇の両方の立場で考えることができました。
児童の思考を表出させる活動	多面的・多角的③ 対立する場面において相手の立場になって理解しようとしている。	縦断的 いろいろな意見を聞いて、いろいろな考え方があったと思った。自分とは違う考えも理解できるようになった。	〇〇について、様々な考えがあると理解し、相手の立場になって考えることができるようになりました。
		横断的 〇〇のとき、〇〇か、〇〇かで迷ってしまいうけど、どちらの考えも大切だと思った。	〇〇の学習では、〇〇について〇〇と〇〇の両方の立場で考えることができました。

*この評価フォーマットは「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」(2017)を参考にしながら、研究担当者が独自に作成したものです。

<評価についての考え方>

【横断的な評価】
授業を通して見取ったよい点や進歩の状況を横に並べて、大きくりなままとりて見たとき、特によかった学びを評価する方法



【縦断的な評価】
児童が授業を通して成長したことを評価する方法

